



政・産・学が一体となって話し合うイノベーション会議 政府がボッシュのCEOを運営委員会に招聘 デナー:「ドイツはネットワーク化で世界をリードする存在」

2014年10月14日
PI 8738 RB Zi/af

- ▶ 技術的な専門テーマや将来の問題について議論するイノベーション会議
- ▶ ボッシュのデナーCEO:コネクテッド ワールドで一步先んじるには、ドイツならではの強みを生かすことが肝要
- ▶ ボッシュのスタートアップ プラットフォームが企業内の「起業家精神」を後押し

ベルリン –ドイツのアンゲラ・メルケル首相の招請を受け、政府主導で産業界と学界とがイノベーション関連のトピックを議論するイノベーション会議の運営委員にボッシュ取締役会会長の Folkmar Denner が就任することになりました。この定例会議では、政治、経済および社会的な条件が将来のドイツの技術革新力などに与える影響や技術的な専門テーマが取り上げられます。会議にはメルケル首相のほか、ジグマール・ガブリエル経済・エネルギー相、ヨハンナ・ヴァンカ教育相やペーター・アルトマイヤー環境相なども出席し、ドイツ科学技術アカデミー (Acatech) 主宰のヘニング・カガーマン教授が委員長を務めています。「ドイツ経済の未来は、技術、組織の両面でネットワーク化を牽引していけるかどうかにかかっています。そのためには、政・産・学が一体となって、イノベーション拠点としてのドイツの強みを伸ばしていかなければなりません」。ボッシュ・グループの取締役会会長兼最高技術責任者 (CTO) を務めるデナーはこう述べ、さらに付け加えました。「知識ベース社会におけるグローバル競争でドイツの本質的な強みを活かすためには、産学の緊密なネットワークが特に欠かせません」

革新的なビジネス モデルをさらに生み出す必要があるドイツ

デナーは自信をもってこう述べます。「ドイツにはネットワーク化の面で世界をリードする力があり、それを成し遂げるための条件も整っています」。生産のネットワーク化という観点でも、ドイツには強力な産業基盤がすでに整っているとデナーは強調しました。「ITとオートメーション エンジニアリングの専門知識を組み合わせた『モノ』の生産ノウハウは、コネクテッド ワールドで一步先んじるための重要なアドバンテージとなっています」。ただ、ドイツの将来の競争力は確固としたものではない、とデナーは考えています。ドイツの産業が技術的パイオニアであり続けているとはいえ、「革新的なビジネスモデルはいまだにシリコンバレーの強みとなっています。インターネット時代においては、



ドイツ企業はビジネスでも革新性を積極的に取り入れていかななくてはなりません」(デナー)。

ボッシュのスタートアップ プラットフォーム:企業内の「起業家精神」を後押し

デナーは、広域ネットワークなどの技術的インフラと起業家精神を根付かせる企業文化の2つの分野が依然として発展途上にあり、これらをいっそう広く発展・浸透させていかななくてはならないと考えています。「ドイツのベンチャー企業の数はここ十年減り続けており、これは望ましい方向とはいえません」(デナー)。そこでボッシュは、会社をあげて「起業家精神」の支援を推進しており、最近、従業員のための「スタートアップ プラットフォーム」を始動しました。デナーはさらにこう続けます。「ボッシュの従業員は非常に優秀な研究者であり、その力を起業家としても存分に発揮してもらうためにこのプラットフォームをスタートさせました」。この「スタートアップ プラットフォーム」は、従業員が革新技術を市場に出すことに力を注げるようにするために財務・経理のマネージメントなどの経営上の事柄において彼らを支援します。

報道用画像: 1-RB-20590、1-RB-20661

報道関係対応窓口:

René Ziegler

電話: +49 711 811-7639

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2013年の従業員数は約281,000人、売上高は461億ユーロを計上しています(注: 会計方針の変更のため、今回公表する2013年のデータと昨年発表した2012年データは、限定的な範囲での比較)。事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbHとその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売のグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。

ボッシュは2013年に約45億ユーロもの金額を研究開発に投資しました。さらに全世界では5,000件以上の国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています(1日あたり平均20件の出願数)。私たちは革新的で有益なソリューションを提供し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

ボッシュの起源は、1886年に創業者ロバート・ボッシュ(1861~1942)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbHの独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主(利益配当)」と「経営(議決権)」が完全に分離した企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができるのです。ロバート・ボッシュ GmbHの株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」(持株比率92%、議決権なし)が保有しています。議決権の大部分は株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」が保有しています。残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbHが保有しています。

さらに詳しい情報は www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英文) www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス(英文)、ツイッター <http://twitter.com/BoschPresse> を参照してください。

